

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-1  
医療機能の確保

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

医療政策課長 坂本偉健

電話番号

0852-22-6698

事務事業の名称	救急医療体制の整備	
目的	(1) 対象	医療機関
	(2) 意図	初期、二次、三次の救急医療体制を確保する
事業概要	救急医療体制を維持するため、以下の施策を実施 ・ドクターヘリの運航による搬送体制の強化 ・救命救急センターの維持のための運営費補助 ・小児救急電話相談事業実施で時間外診療抑制による医師負担軽減	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	救急病院数	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	病院
	式・定義	救急告示病院数	取組目標値						
			実績値	25.0	25.0				
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	100.0	100.0	-	-	-	
			達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	343,002	348,363
うち一般財源 (千円)	173,775	177,372

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

・島根県ドクターヘリデータ(平成23年6月運航開始) 運航件数 H23: 489件、H24: 695件、H25: 725件、H26: 737件、H27: 611件、H28: 615件  
 ・中国5県広域連携による広島県及び山口県ドクターヘリの島根県乗り入れ実績(平成25年5月乗入開始) 乗入実績 H25: 77件、H26: 78件、H27: 81件、H28: 89件  
 ・平成29年度末に鳥取県がドクターヘリを導入し、本県へ乗り入れる予定。  
 ・小児救急電話相談実績(H19.9~) H19: 572件、H20: 1,410件、H21: 2,007件、H22: 2,107件、H23: 2,111件、H24: 2,116件、H25: 2,491件、H26: 3,061件、H27: 4,186件、H28: 5,569件

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

・島根県内の3次救急病院及び2次救急病院の体制は維持されている。  
 ・島根県ドクターヘリの運航件数は全国的に見て高頻度であり、重複要請が多く発生していたが、救急告示病院まで10分以内の現場救急について原則陸路搬送とした結果、重複要請が減少した。  
 ・H27年11月から小児救急電話相談の受付時間を延長し、広報を強化した結果、相談数が増加した。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・救急病院への患者集中による医師の疲弊  
 ・ドクターヘリや防災ヘリを用いた救急搬送の増加に伴う医師や運航関係者の負担増加

### ②困っている状況が発生している「原因」

・県民の意識不足  
 ・医師の理解

### ③原因を解消するための「課題」

救急病院やヘリコプターに集中する負担を、全県でカバー・分散する仕組みが必要

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・県民への普及啓発の実施(小児救急電話相談のPR、コンビニ受診抑制)  
 ・鳥取県ドクターヘリとの連携の推進  
 ・ドクターヘリと防災ヘリの役割分担・連携による搬送体制の強化の仕組みを検討